

第 775 回 例 会

30年8月24日

本日のプログラム

- ・ソング 「われら日本ロータリアンの歌」
- ・卓話 森本 良嗣 会員
ゲストスピーカー 後藤 孝一 氏 「天満 大好き」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安北の間」

次回(8月31日)のプログラム

- ・ガバナー公式訪問 RI第2660地区 山本 博史 ガバナー
- ・ソング 「われら日本ロータリアンの歌」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

先週(8月10日)の例会報告

■会長の時間

【海外旅行でのトラブル】

来週はお盆休みで、海外に旅行される人も多いと思います。海外に行きますと気持ちもおおらかになり、つい油断して思わぬ事態に遭遇することもあります。

外務省のある一年間の統計を見ますと、大使館あるいは領事館に援護を求めてきた事案の件数は、16,023件あり、関係者の人数で言うと 21,871人になるそうです。

では、この援護案件の内訳はと言いますと、1位は、窃盗事案で、5619件、2位は、落とし物で、3088件、3位が、病気、安否確認などで、764件だそうです。そして、犯罪事案に絞ってみますと、1位は、置き引きで、2332件あったそうです。置き引きでよくあるのが、食事中だそうです。2位は、詐欺案件で、80件、海外版振り込め詐欺も起こっているそうです。

次に地域による特徴を見ると、アジアでは、詐欺案件が多く、いかさま賭博、宝石・洋服詐欺などがあるとのこと。欧州では、置き引き、すり、ひったくりが多く、北米では、車上狙いが多発しているそうです。レンタカー利用が多いからではないでしょうか。

そしてオセアニアでは、住居侵入が多いそうです。

海外旅行に行かれるときには、あまり気を緩めすぎないようにして、気持ちよく旅をしたいものだと思います。

【来客紹介】 2名

【出席報告】

30年8月10日(第774回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
34名	0名	24名	10名	70.59%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】 1)秋のライラのご案内(チラシ)

ニコニコ箱(8月10日)

秋山 千尋 =ガバナー補佐訪問、大歓迎致します。

福島 三雄 =ガバナー補佐川上様、ガバナー補佐エレクト木越様、本日はよろしくお願ひ致します。

橋本 勉 =暑い日が続きますが、皆様ご自愛下さい。明日、後輩達が甲子園通算100勝をかけて鳥取城北と戦います。
今年の龍大平安は強いです。ご期待下さい。

森本 良嗣 =何故か忙しい事が続きます。斎藤さん、卓話楽しみにしておりました。

大屋 準一 =暑いです。連続で台風が来ているようです。皆様ご注意下さい。

川上様、ガバナー補佐の大役、ご苦労様です。ご指導、よろしくお願ひ致します。

斎藤 清貴 =司会と卓話、がんばります。宜しくお願いします。

笹倉 光雄 =明日からお盆休みになりますが、気をつけて元気で次回もお会いしましょう。

高野 幸雄 =斎藤さん、卓話ががんばって下さい。

辻田 知史 =今日からもうお盆休みがスタートしたみたいですね。京都からは上りの高速道路が既に大渋滞していて、また遅刻するかとちょっと焦りましたが、大阪方面はまだ比較的流れていて助かりました。これから事故も増えそうです。皆さん、大渋滞に合わないようにつけましよう。斎藤さん、卓話楽しみにしています。

【SAA報告】

ニコニコ箱	本日計 9000円	今年度合計 4360856円
-------	-----------	----------------

卓話(8月10日)

30年前 仕入先メーカーの教育部から借りたVHS「てんびんの詩」

それから新人営業研修に必ず利用しています。

- ・商いの真髄 営業の基礎
- ・教える側の心得
- ・人、物、金 の人とは・・・
- ・近江商人とは
- ・近江商人の商い哲学
- ・ロータリー職業奉仕

(あらすじ)

その日、主人公・近藤大作は小学校を卒業した。近江の大きな商家に生まれた彼は、何不自由なく育ち、今日の日を迎えていた。そんな彼に、父は祝いの言葉と共に一つの小さな包みを手渡す。中には鍋の蓋が入っていた。彼には意味がわからない。だが、その何の変哲もない鍋蓋が大作の将来を決めることになる。父はそれを売ってこいというのだ。売ってこなければ、跡継ぎにはできないという。

しかたなく、大作は鍋蓋を売りに歩く。まず店に出入りする人々に押し売りのようにしてすすめる。だが、そんな商いがうまくいくはずもない。道ゆく人に突然声をかけても、まったく見向きもされない。親を恨み、買わない人々を憎む大作。父が茶断ちをし、母が心で泣き、見守る人々が彼よりもつらい思いをしていることを彼は知らない。その旅は、近江商人の商いの魂を模索する旅だったのだ。行商人のようにもみ手をし卑屈な商いをして、乞食をまねて泣き落としをしても、誰も彼の鍋蓋を買うものはいない。いつしか大作の目には涙があふれていた。そんなある日、農家の井戸の洗い場に浮かんでいる鍋をぼんやりと見つめながら、疲れ切った頭で彼は考える。〈鍋蓋がなくなったら困るやろな。困ったら買ってくれるかもしれん〉。しかし、次の瞬間にはこの鍋蓋も誰かが難儀して売ったものかもしれん。無意識のうちに彼は鍋蓋を手に取り洗いはじめていた。不審に思った女は尋ねる、なぜ、そんなことをしているのかと。大作は、その場に手をついて謝る。

「堪忍して下さい。わし悪いやつです。売れなかったんやないんです。物売る気持ちもできてなかったんです。」

女は彼の涙をぬぐいながら、その鍋蓋を売ってくれというのだった。



少年は涙の向こうに商いの真髄を見た。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか